

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	協調学習システム特論第二		
英文授業科目名	Topics in Collaborative Learning Systems 2		
開講年度	2005年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	渡邊 成良		
居室	総合研究棟 8 2 5		

公開E-Mail	授業関連Webページ
watanabe@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>協調学習システム特論第一のアドバンスコースとなるが、国際会議論文などを使った最新のトピックスを取上げ、受講者による輪講形式で学習を進める。</p> <p>その過程において、研究目標の設定と研究計画の策定、論文作成で問われる新規性、有用性等の読解力や評価力を養わせる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
協調学習システム特論第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし

【授業内容とその進め方】
<p>Web Site の構築と運用 (第 1 週)</p> <p>実用化例 (第 2、3 週)</p> <p>Web データベース (第 4 週)</p> <p>対話環境の性能と評価 (第 5 週)</p> <p>システム構成とセキュリティ (第 6、7 週)</p> <p>Multimedia Classrooms (第 8 週)</p> <p>論文の輪講 (第 9、10、11、12 週)</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

事例研究（第13、14週）

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績は、輪講の評価と授業中の質問に対する解答（40点）、および第8週までの6項目毎のレポート（60点）により評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電子メールで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

英語の教科書・論文を中心に授業と輪講を展開する。特に、授業中に質問しながら理解を深めさせ、論文購読を通じて論文執筆に欠かせないスキルを磨いてもらう。

【その他】

なし